

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

・ 合同講演会の開催	P 1
・ 平成 23 年度まちづくり情報交流協議会全国大会 （第 7 回定期総会、第 6 回まち交大賞表彰式及び講習会）の開催	P 3
・ JR 新宿駅南口駅舎及び道路改良工事見学会の開催	P 5
・ 機構の活動状況	P 6

§ 合同講演会の開催

都市みらい推進機構、都市地下空間活用研究会及びアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）の三者合同による第 12 回目の講演会を、8 月 4 日（木）アルカディア市ヶ谷（私学会館）において開催いたしました。本講演会は、国土交通省・都市局の関係各課から講師をお迎えし、毎回ホットなテーマに関してご講演を頂いております。今回は、今一番ホットなテーマである東日本大震災に関して、都市計画課・都市計画室長の渡邊室長をお迎えし、『東日本大震災復興まちづくり支援の取組み』と題して、①東日本大震災の概要、②政府の復興に向けた主な動き、③国土交通省の復興に向けた主な動きについてご講演をいただきました。

講演内容の概要

①東日本大震災の概要

・ 交通網の緊急復旧

過去の経験からの学ぶことの有効性（対震対策が取られていたことでの早期復旧）、複数ルート（日本海側）を持つことの有効性が証明された。

・ 津波被災状況





市街地部の約3割が浸水

- ・地盤沈下の状況
牡鹿半島の先端を中心に横にずれながら沈下
大潮の時に日常的に冠水する状況も発生

②政府の復興に向けた主な動き

- ・東日本復興構想会議開催閣議決定（4/11）
- ・平成23年度第一次補正予算成立（5/2）
調査費71億承認
- ・東日本大震災復興基本法制定（6/24）
東日本大震災対策本部の設置
- ・中央防災会議専門調査会中間とりまとめ（6/26）
津波対策の基本的な考え方（減災の考え方）を2つの津波を想定しとりまとめ。
L1：発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波
→海岸保全施設等については、設計対象の津波高を超えた場合でも施設の効果が粘り強く発揮できるような構造物の技術開発を進め、整備していくことが必要
L2：発生頻度が極めて低いが発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラス津波
→住民の避難を軸に、土地利用、避難施設、防災施設などを組み合わせて、ソフト・ハードのとりうる手段を尽くした総合的な津波対策の確立が必要
- ・平成23年度第二次補正予算成立（7/25）
小規模な予算。公共事業の大きなものは第三次補正予算になる。
- ・東日本大震災からの復興の基本方針決定（7/29）
 - －復興を担う行政主体は市町村が基本。
 - －被災しても人命が失われないことを最重視し、減災の考え方に基づき災害に強い地域づくりを推進

②国土交通省の復興に向けた主な動き

- 国土交通省の全体の取り組み
 - ・被災者の生活再建と安定
居住と交通の確保の推進
 - ・新たな発想による復興まちづくり
 - －地域の状況に応じたまちづくり
 - －ハード・ソフトの施策を統合した「津波防災まちづくり」
 - 「一線防御」から「多重防御」へ
- ・地域の産業・経済の再生とそれを支える都市・交通基盤





- ・災害に強い国土構造への再構築
- まちづくりとしての取り組み
- ・津波被災市街地復興手法検討調査
 - 6 県 62 市町村対象
 - 被災現況等の調査・分析、市街地復興パターンの検討、復興手法等の検討
- ・設計津波の水位の設定
 - まちづくり策定のためには、復旧が行われる海岸堤防の高さが明らかにすることが重要。
 - －地域海岸ごとに設定することを基本
 - －過去に発生した津波の実績と、必要に応じて実施するシミュレーションに基づくデータを用いて一定頻度で発生する津波の高さを想定し、その高さを基準として海岸管理者が設定

上記の内容をパワーポイントおよび配布資料を使用して分かりやすくご説明をいただき、ご講演後の質疑応答も活発に行われました。

本シリーズについては、国土交通省・関係各課にご協力をいただきながら今後も進めて参ります。

§ 平成 23 年度まちづくり情報交流協議会全国大会（第 7 回定期総会、第 6 回まち交大賞表彰式及び講習会）の開催

「都市再生整備計画事業」を活用して、地域の創意工夫を活かしたまちづくりの推進を目指す地方公共団体が集う「まちづくり情報交流協議会」の全国大会が、7月7日（木）全国 260 地方公共団体の出席のもと、東京都千代田区永田町の星陵会館ホールにおいて開催されました。

同協議会定期総会では会長の野志克仁松山市長並びに来賓の国土交通省都市局望月明彦市街地整備課長にご挨拶をいただいたあと、運営規則の一部改正、平成 22 年度事業報告及び収支決算、並びに平成 23 年度事業計画及び収支予算について審議を行い、承認を得ました。

なお、総会に続き第 6 回「まち交大賞」の表彰式、最後に下記のテーマで講習会が行われました。

【定期総会における議案及び報告】

- 第 1 号議案 協議会運営規則第 5 条に定める会費の一部改正（案）について
- 第 2 号議案 平成 22 年度事業報告（案）について
- 第 3 号議案 平成 22 年度収支決算（案）について
- 第 4 号議案 平成 23 年度事業計画（案）について
- 第 5 号議案 平成 23 年度収支予算（案）について



- 報告1号 役員について
- 報告2号 今後の主なスケジュールについて
- 報告3号 共同研究「観光と交流によるまちづくり調査」(結果)について

【講習会におけるテーマと講師】

1. 「都市再生整備を活用したまちづくりと都市再生特別措置法改正の動きについて」
 講師 国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室 係長 犬飼 武 氏
2. 「大街区化ガイドラインの策定について」
 講師 国土交通省都市局市街地整備課 係長 廣岡 秀隆 氏
3. 「まち交大賞受賞地区の計画概要について」
 講師 富山市都市整備部参事都市政策 課長 高森 長仁 氏



第7回定期総会の様子



会場の様子



第6回まち交大賞 各受賞者



講習会の様子



§ JR 新宿駅南口駅舎及び道路改良工事見学会の開催

東日本大震災の影響で延期されていた JR 新宿駅南口駅舎及び道路改良工事見学会（UIT・地下研合同）が、去る7月20日の15時から東日本旅客鉄道（株）のご協力を得て、開催されました。当日は台風6号の影響もあり、時々雨が降る天気にもかかわらず、25名が参加しました。

この工事は、国土交通省が主体で実施しているプロジェクトであり、三つのプロジェクトで構成されている。

新宿駅南口地区基盤整備事業の概要は、国道20号新宿跨線橋の架け替え（道路の拡幅による渋滞の緩和、跨線橋の老朽化に対する防災性の強化）、線路上空を活用した南口広場の整備及び総合的な交通結節点の構築、回遊性に優れた歩行者空間の確保であるとのことであり、事業の完成イメージ、跨線橋の架け替えの工事状況、新宿交通結節点の工事状況および事業スケジュールについて、PPTを用いて説明していただきました。

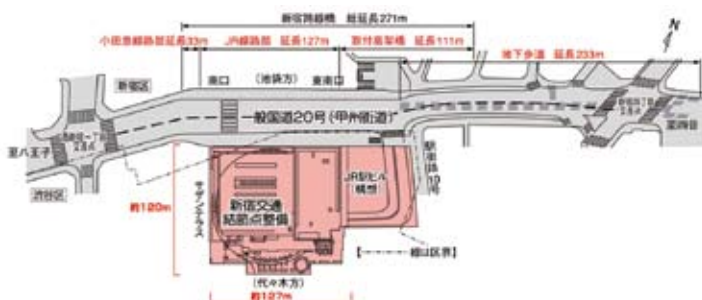
また、交通結節点の概要についても、整備工事の概要、平成28年の完成予定イメージ、2階平面プラン、3階平面プラン、4階平面プラン、埼京線部の地下躯体構築位置について、整備工事の進捗概要（人工地盤部の鉄骨建て方は約80%、埼京線部の鉄骨建て方は約30%、新南口駅舎は撤去中）は、現場写真（側面、上空）にて、埼京線部の地下躯体構築位置（人工地盤部、埼京線部、開発ビル部）については、断面図、現状写真、構築ステップ図を、それぞれPPTを用いて説明を受けたのち、説明場所のJR東日本新宿ビル9階会議室で着替え、現場に移動しました。

交通結節点として整備中の3階部のタクシー、一般車の乗降場において、再度現況の説明をいただきました。

見学終了後会議室に戻り、質疑応答が活発に行われました。



新宿駅南口地区基盤整備事業位置



事業位置平面





§ 機構の活動状況

日	7月	日	8月
7	東日本大震災復興支援 WG 開催 (第2回)	3	国土交通省と意見交換 (震災復興支援)
13~15	自治体総合フェア (東京ビックサイト) に当機構ブース出展	4	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会 (国交省 都市計画調査室)
14	地域活性化統合事務局と意見交換 (震災復興支援)	5	墨田区と意見交換 (観光戦略)
19	相模原市と意見交換 (土地有効活用等)	11	首都圏定期借地借家権推進機構と意見交換 (連携協議)
19	東京海洋大学と意見交換 (震災復興支援)	10	鎌倉市役所と意見交換 (観光戦略)
20	東日本大震災復興支援 WG 開催 (第3回)	17	国土交通省と意見交換 (震災復興支援)
		22	地中熱利用ヒートポンプを活用した低炭素都市づくり研究会 第1回会議

【機構関係諸団体】

《都市地下空間活用研究会》

7	事業部会	4	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会 (国交省 都市計画調査室)
11	地下防災帰宅困難者ヒヤリング八重洲地下街、高島屋地下浸水コア会議	4	八重洲・東京・日本橋地区分科会 WG
14	地下防災帰宅困難者ヒヤリング新宿区、新宿サブナード地下街	8	地下利活用検討分科会 WG1
20	JR 新宿駅南口見学会	11	地下浸水シュミレーション中間説明、千代田区役所
21	早稲田大学関根教授打合せ	23	中野区副区長打合せ
25	地下防災勉強会	30	地下利活用検討分科会 WG1
28	地下浸水シュミレーション中間説明、国交省都市局安全課、JR 東日本	31	定例懇話会

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

12	第21回技術研究発表委員会	4	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会 (国交省 都市計画調査室)
20	JR 新宿駅南口見学会	11	技術研究発表論文調整打合せ
26	交流展示会出展打合せ	30	交流展示会出展打合せ

《まちづくり情報交流協議会》

7	平成23年度 全国大会 (第7回定期総会、第6回まち交大賞表彰式、都市再生整備計画講習会)		
---	---	--	--

(財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区関口1-23-6
 プラザ江戸川橋ビル201号
 電話 03-5261-5625
 FAX 03-5261-5629
 Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧ください
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・都市再生整備計画事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援 他